

星野行則 (ほしの ぎょうすけ) 實業家、國字改良論者。明治二年八月二十八日肥前  
國生れ（ニハセノ）。大阪神學学校卒。アメリカカギシテを決んでキリスト教  
傳道に從事。のち加島屋廣岡との子を知り、聘せられて加島銀行に入  
る。東京支店支配人、果進して常務取締役、次で加島信託株式會社常  
務に轉じた。大阪俱樂部理事。また國字改良運動に携はり、戦後國語  
審議會委員を務めた。

著書に『ロバート餘録』(明治四十五年四月五日警視社書店)、『ロバート  
ツピンノ印象』(昭和十年四月、二十五年兵庫・旬刊)等。

